

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ハザン省、クアンビン省、クアンガイ省に暮らす少数民族の子どもが、整備された教育環境で児童参加型の初等教育を受けられるようになる。 当事業(第1期)はこれまで、対象地域にある全小学校の1・2年生(計202学級)に対する図書・書棚支給を通じた教室環境の整備を実施した。また、児童参加型授業などに関する教師トレーニングを実施し、参加した教師がこれらの手法を日常の授業に取り入れ始めている。
(2) 事業内容	<u>1. 子どもにやさしい教育環境の整備</u> 1. 1 教室建設および教室備品の支給 対象の2村(ハザン省ナムタン、クアンガイ省ランシ)で教室の建設を開始した。ハザン省ナムタンでは、建設教室数を2教室・教員室から3教室へ変更し、校庭・フェンス・石垣の追加設置を行う。また、自己資金での建設を予定していた給食の調理場は、助成金による支援へ変更した(いずれも2014年5月変更申請書提出)。クアンガイ省ランシでは、予定どおり、2教室の建設を進めている。いずれも、2014年8月頃の完成を予定している。 1. 2 衛生・給水設備の設置 1. 1の対象校の両校において、男女別トイレと給水設備の建設を進めている。いずれも、2014年8月頃の完成を予定している。 1. 3 図書および書棚の支給 2014年4～5月に、対象地域にあるすべての本校を対象に、児童用図書を支給した。あわせて、分校を含むすべての1・2年生各教室(計202教室)に、本校から借りた図書を置くための書棚を支給した。教師には、「子どもにやさしい教育環境」トレーニング内で管理方法を指導した。 <u>2. 教師対象トレーニング</u> 2. 1. プロジェクト振り返り・計画ワークショップ 2014年1月に、プロジェクト振り返り・計画ワークショップを2日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とする45人。あわせて、モニタリング・評価に関するトレーニングも実施した。 2. 2. 子どもにやさしい教育環境トレーニング 2014年2月に、教材・図書の有効活用と維持管理に関する指導を4日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とするコアチーム42人。トレーニングに参加したコアチームは、各コミュニティに戻った後、地域の教師全員を対象とするトレーニングを行った。各コミュニティでのトレーニングは、クアンビン省・クアンガイ省は当初の予定どおり1回ずつとしたが、よりニーズの高いハザン省では2回ずつに拡大した(2014年5月変更報告書提出)。

	2. 3. カリキュラム改善策検討ワークショップ クアンビン省では、2014年5月に、カリキュラム調整のためのワークショップを3日間行った。参加者は、対象1郡の教師や教育訓練局職員を中心とする50人。ハザン省では2014年10月、クアンガイ省では2014年9月の実施を予定している。 2. 4. 児童参加型授業トレーニング 2014年3月および6月に、クアンビン省とクアンガイ省のコアチームを対象とする児童参加型授業のトレーニングを2回実施した。それぞれ4日間・5日間で実施し、6月は教材作成指導もあわせて行った。参加者は、対象2省の教師や教育訓練局職員を中心とする延べ77人。ハザン省のコアチームに対しては、2014年3月に教材作成トレーニングを3日間実施し、18人が参加した。トレーニングに参加したコアチームは、各コミュニティに戻った後、地域の教師全員を対象とするトレーニングを1回ずつ行った。今後、各コミュニティでのトレーニングをさらに1回ずつ行う予定となっている。 2. 5. 教師間の学びあいトレーニング 2014年2月に、日本人教育専門家がハザン省の対象校を訪問し、現場の教師の直接指導を行った。また、2014年4月には、日本人教育専門家が中心となり、トレーニングを5日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とする53人。さらに、2014年5月には、現地教育専門家がクアンガイ省の対象校を訪問し、現場の教師の直接指導を行った。各校では、公開授業を毎月行うなど、教師間の学びあいを促進している。今後も引き続き、現地教育専門家らによる現場指導や、日本人教育専門家によるトレーニングの実施を予定している。なお、バクザンで開催予定であったトレーニングは中止し、年3回の実施を予定していた同トレーニングは、年2回の実施へと変更する(2014年5月変更報告書提出)。 <u>3. 地域での教育活動の推進</u> 3. 1. ベトナム語指導のための教員アシスタント配置 ハザン省において、少数民族の子どもたちのベトナム語習得をサポートするための教員アシスタントを6人配置した。教員アシスタントは、地域の保護者を中心に少数民族の言語とベトナム語の両方ができる人物を採用した。教員アシスタントは週5日勤務し、ベトナム語の難しい用語を少数民族の言語で解説するなど、児童の授業理解を促進している。 3. 2. 地域の読み聞かせ会の開催 対象3省において、夏休みの期間の読み聞かせ会を地域で開催する。地域の保護者や教師が中心となり、1. 3で支給する図書を活用して、実施する予定。同活動は自己資金での実施を予定していたが、助成金による支援へ変更した(2014年5月変更申請書提出)。
--	--

(3) 達成された効果	直接裨益者数および間接裨益者数は、計画どおりの予定。指標に基づく現在までの進捗状況は、以下のとおり。 1) 子どもにやさしい教育環境の整備 - 新しく建設された教室で授業を受ける児童の数: 0人(0%達成、現在建設中のため) - 新しく設置された衛生設備を使う児童の数: 0人(0%達成、現在建設中のため) - 新しい図書を活用する児童の数: 7,053人(100%達成) 2) 教師対象トレーニング - 子どもにやさしい教室環境をつくり、教材を作成した教師数: 63人(10%達成) - 少数民族の児童向けにカリキュラムを調整する教師数: 0人(0%達成、9月の新学年開始以降の実施を予定しているため) - 少数民族の児童向けの授業案を紹介する資料の発行数: 基幹校22校で0回(0%達成、8月以降の実施を予定しているため) - 学びあい公開授業の実施回数: 基幹校22校で平均4回実施(57%達成) - 学びあいを理解し、各コミュニティで継続参加する教師の数: 629人(100%達成) 3) 地域での教育活動の推進 - 教員アシスタントのサポートを受けた児童の数: ハザン省の6教室に通う児童 120人(100%達成) - 地域の読み聞かせ会に参加した児童の数: 0人(7月以降の実施を予定しているため)
(4) 今後の見通し	小学校は、2014年6月から8月まで夏休みとなる。事業は計画どおり進捗しており、今後は主に以下を予定している。 ● 教室建設、教室備品の支給、衛生・給水設備の設置は、2014年9月に新学年が開始される前、2014年8月頃の完成予定。 ● カリキュラム改善策検討ワークショップは、ハザン省では2014年10月、クアンガイ省では2014年9月に実施予定。 ● 教師間の学びあいに関する教師トレーニング(第1期2回目)は、2014年12月にクアンガイ省で実施予定。 ● 各コミュニティ(15コミュニティ)における教師トレーニングは、地域の教師全員が参加できるよう、コアチームが継続して実施。 ● 地域の読み聞かせ会は、2014年7～8月に実施予定。